

薩摩川内市立川内中央中学校沿革史

年月日	おもな出来事	年月日	おもな出来事
昭和53年 8月	川内市学校統合同題審議会「川内西中と川内東中統合同」の答申	平成 7年11月18日	県PTA活動研究委嘱公開
// 53年11月 5日	両校区民の統同意志の決定	// 9年11月27日	県特別支援教育研究大会
// 55年 9月	臨時市議会 財産取得並びに新設校の位置決定	// 10年 3月31日	「心の教室」完成
// 11月	造成第1期工事着手	// 11年 7月 2日	県理科教育研究大会
// 12月	校舎第1期工事着手	// 13年12月 1日	創立20周年記念式典 芸術鑑賞
// 56年 9月	校章・校歌の制定	// 15年 6月	PTA「花プレゼント」事業開始
// 57年 3月	竣工	// 17年 5月13日	県百人委員会視察
// 4月 6日	開校式 入学式 始業式	// 10月 2日	「小さな親切運動」実行委員会賞受賞
// 4月26日	開校記念式典 祝賀会	// 22年 6月18日	県算数・数学教育研究大会(口蹄疫のため中止)
// 58年 6月17日	県数学教育研究大会	// 23年 9月30日	川内中央中同窓会発足
// 7月 7日	PTA家庭教育学級開設	// 11月19日	創立30周年記念式典 記念発表会 祝賀会
// 59年11月14日	県中学校英語教育研究公開	// 24年 2月10日	県指定「学力向上」・市指定「小中一貫教育」研究公開
// 60年11月15日	全国学校体育研究大会(県外71校 県内69校)	// 11月13日	県中学校英語教育研究大会
// 61年 2月27日	南校舎3教室増築工事開始	// 25年 7月 5日	県理科教育研究大会(北薩大会)
// 7月 4日	県理科教育研究大会	// 29年 6月10日	緊急災害時引渡訓練開始
// 11月 6日	文部省指定「生徒指導」総合推進校研究発表大会	// 30年 2月22日	川内中央中校区小中一貫教育研究公開
// 63年11月25日	県指定「国語科」研究公開	// 4月 1日	高江中学校統合
平成 2年 3月31日	南校舎3教室増築完成	// 5月18日	鹿児島県教育長学校訪問
// 11月29日	地区指定「進路指導」研究公開	// 31年 3月 3日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業(～3月15日)
// 12月20日	県教育委員会学校視察	令和 2年 4月22日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業(～5月10日)
// 3年11月16日	開校10周年記念式典・講演会	// 3年 2月 9日	川内中央中校区小中一貫教育研究公開
// 4年10月12日	鹿児島大学教育学部生教育実習開始	// 12月 1日	県指定「たくましい“かごしまっ子” (体力向上)」研究公開
// 5年10月25日	県表現・図画工作・美術教育研究大会	// 12月11日	創立40周年記念式典 記念講演
// 6年 7月14日	中国常熟市教育考察団視察		
// 9月 3日	PTA地区懇話会開始(9ブロック)		
// 7年 4月18日	文部省「中学校教育課程実施状況調査研究協力校」に指定		

歴代の校長

初代 浦邊 文夫	第5代 鮫島 寛行	第9代 原園 修二	第13代 吉元 正信
第2代 正本 敏夫	第6代 徳重 昭	第10代 瀬下 浩	第14代 辻 慎一郎
第3代 内野 恵	第7代 岩下 哲郎	第11代 山口 幸次郎	第15代 池田 猛
第4代 兒玉 康男	第8代 長 等	第12代 外 俊則	

歴代のPTA会長

初代 小山田 善次郎	第8代 大原 俊博	第15代 若田 吉朗	第22代 安藤 克也
第2代 菱刈 徳明	第9代 野平 誠	第16代 久保田 一司	第23代 鶴屋 豊文
第3代 出原 菊芳	第10代 春田 廣士	第17代 大坪 幹也	第24代 植村 一浩
第4代 古賀 玉樹	第11代 佐藤 達哉	第18代 森園 正文	第25代 成尾 哲也
第5代 瀨田 晴樹	第12代 野村 芳満	第19代 松元 邦明	第26代 岸上 健一
第6代 堂園 喜明	第13代 奥野 政博	第20代 松本 啓	第27代 皆倉 祥裕
第7代 宮下 慎一	第14代 新 美和文	第21代 中満 郁雄	第28代 柏木 祥裕

創立40周年記念誌

2021年(令和3年)11月発行
発行所 川内中央中学校
発行者 創立40周年実行委員会
編集 創立40周年実行委員会
記念誌部

川内中央中学校

〒895-0012 薩摩川内市平佐町5000番地
Tel 0996-23-5000 Fax 0996-23-5585

川内中央中学校ホームページ
<http://www.edu.satsumasennndai.jp/sennndaichuo-j>



創立40周年式典
youtubeライブ配信

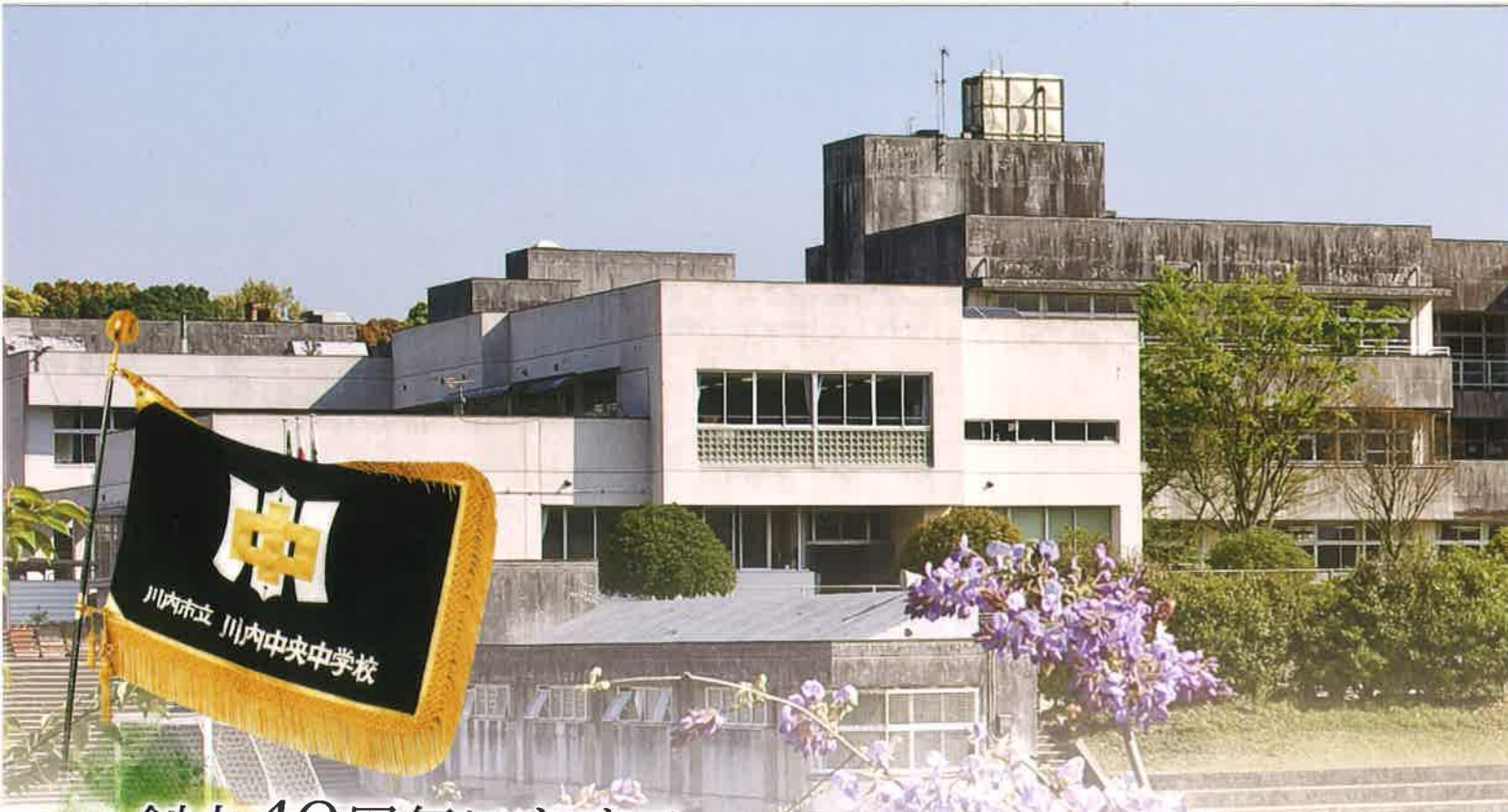


薩摩川内市立川内中央中学校 創立40周年



校訓
○ 自主
自分から進んで計画し、実践する。
○ 友愛
豊かな心を持ち、互いに励まし合う。
○ 好學
継続的に努力し、進んで学習する。

校歌
作詞 川内市詩中
作曲 藤崎昭陽
一 紫崖の山をみ明りそめて
希望にみちる朝は来ぬ
見よ向学の意気は燃え
真理の道とひとすしに
われら川内中央中
二 川内川の水青く
流れてめぐる虹の海
ゆたかな心よせめて
あふ友情の花を咲く
われら川内中央中
三 文化をほふるふるこの
歴史の森の気高きよ
三年の鼓譟のり越えて
世紀のあすと開かむ
われら川内中央中



創立40周年によせて



実行委員長
岸上 哲也

川内中央中学校が創立40周年を迎えられたことは、地域の皆様や関係各位の御支援、御協力の賜物であると敬意を表し深く感謝申し上げます。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響により、周年記念事業につきましては極力人流を避け、校内モニターやインターネットを活用した式典を行う運びとなりました。

川内中央中学校は昭和57年に開校した比較的新しい学校ですが、川内西中学校、川内東中学校の統合によりスタートし、平成30年には高江中学校との統合により、現在は広大な校区を擁しております。決して40年間の歴史だけでは語ることでない先人の多くの方々の想いを背負い受け継いできた学校です。

長年に渡り地域の皆様や関係各位に支えられ、その想いを感じるたびに、歴史の重みと皆様の努力や情熱を決して忘れてはならないと胸を熱くする次第です。

これからも川内中央中学校が末永く発展し、地域の皆様に愛される学校で在り続けますように願ってやみません。最後に創立40周年記念事業に際しまして、地域の皆様、先生方、実行委員会の皆様、関係各位から頂戴しました物心両面の御協力、御支援に対しまして心から御礼申し上げます。



PTA会長
柏木 祥裕

記念すべき創立40周年を迎えられたことに、心よりお祝い申し上げます。

コロナ禍で難しい時期ではございましたが、川内中央中学校が無事に40周年を迎えられたことを、大変うれしく思っております。

私自身、この川内中央中の5期卒業生であり、思い起こせば38年前にたくさんの希望に胸を膨らませ入学し、勉強そっこのけで野球をしていました。思い出といえば、殆ど野球しかありませんが、一生懸命部活動することで、勝つことの嬉しさ、負けることの悔しさ、チームワークの大事さ、たくさんの事を学びました。

今の生徒達も学校という集団生活の中で、様々な経験を通して学び成長し、その姿を見ることが出来るということは、PTAとして、親としてもこれに勝る喜びはありません。

この川内中央中学校が、この先50周年、そして100周年と益々発展していき、生徒や卒業生がより一層活躍していくことを心から期待し、先生方、地域の皆様、PTAと共に見守っていきたいと思います。

最後に、創立40周年事業実施にご協力いただきました先生方、実行委員の皆様方に、心より深く感謝申し上げます。お礼の言葉といたします。



川内中央中学校長
池田 猛

昭和57年川内西中学校と川内東中学校が統合され、また、平成30年に高江中学校が統合されて、薩摩川内市内で一番大きな校区を有する川内中央中学校が、節目の年である創立40周年を迎えますことを心からお喜び申し上げます。

本校は、壮大な敷地を有し、創立以来生徒や職員の目標としている校訓「自主 友愛 好学」と育てたい四つの心「感動する心 思いやりの心 感謝する心 耐える心」の育成を本校不変の教育信念としております。さらに、これまで8,857名が卒業され、変化の予測が難しく、社会の在り方が劇的に変化していくSociety5.0この時代においても、その先輩方が築いてこられた本校の伝統と歴史は、確実に受け継がれております。

さて、この2年間は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染防止策として、多くの学校行事が中止・短縮するなど、今まで誰も経験したことがないような教育活動を企画・運営してまいりました。第40代生徒会が掲げてきた「日本一やさしい学校」を目指して、合い言葉に「感謝と思いやり」を掲げ、40年の伝統と歴史に恥じない学校づくりに邁進しております。

そんな中、昨年、県「たくましくこしまっ子育成推進事業」の指定を受け、今年12月1日には研究公開も予定しております。また、校長室に納められている各種大会の優勝旗も27本を数えます。体力の向上だけでなく、全ての教育活動に生徒、教職員、そして地域が一体となって今後も取り組んでいく所存です。

終わりに、式典・記念講演にあたり、創立40周年記念事業実行委員会の並びに、関係各位の皆様方のご尽力に深い敬意と感謝を申し上げます。



生徒たちの軌跡

年度	大会名	競技区分	
H24	第34回九州中学校陸上競技大会	2年女子100m	
	第40回九州中学校水泳競技大会	女子共通4×100mR	
	第42回男子九州中学校柔道競技大会	男子平泳ぎ100m	
	第43回全国中学校柔道大会	男子90kg超級	
H25	第3回九州中学校テニス競技大会	男子ダブルス	
	第44回九州中学校剣道競技大会	男子個人	
	第35回九州中学校陸上競技大会	3年女子100m 3位 共通走高跳 2位	
	第41回九州中学校水泳競技大会	50m自由形 100m自由形	
H26	第40回全国中学校陸上競技選手権大会	女子走り幅跳び	
	第44回九州中学校バスケットボール競技大会	男子	
	H27	第36回九州中学校陸上競技大会	女子走り高跳び
	H28	第38回九州中学校陸上競技大会	女子400mリレー
第61回九州吹奏楽コンクール		金賞	
H29	第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会	女子200m・女子円盤投げ	
	第28回女子九州中学校柔道競技大会	女子団体 女子個人48kg級 女子個人70kg級	
	第39回九州中学校陸上競技大会	共通100mH 3年女子100m	
	第45回九州中学校水泳競技大会	男子1500m	
H30	第62回九州吹奏楽コンクール	女子個人70kg級	
	第47回九州中学校バドミントン競技大会	男子個人	
	第29回女子九州中学校柔道競技大会	女子個人70kg級 3位	
	第40回九州中学校陸上競技大会	男子共通3000m 女子共通走り高跳び 2位	
R1	第46回九州中学校水泳競技大会	男子自由形400m 男子自由形1500m	
	第63回九州吹奏楽コンクール	男子個人	
	第48回全国中学校バドミントン大会	男子個人	
	第30回女子九州中学校柔道競技大会	女子団体	
R2	第48回九州中学校バドミントン競技大会	男子個人	
	第41回九州中学校陸上競技大会	女子共通走り高跳び 優勝	
	第49回九州中学校剣道競技大会	女子個人	
	第64回九州吹奏楽コンクール	金賞	
R3	第50回全国中学校柔道大会	女子団体	
	第46回全国中学校陸上競技選手権大会	女子共通走り高跳び 5位	
	第65回全日本中学校通信陸上競技大会	女子共通走り高跳び 2位	
	第18回九州中学生選抜軟式野球大会	優勝	
R3	第32回女子九州中学校柔道競技大会	女子個人70kg級 3位	
	第65回九州吹奏楽コンクール	女子個人70kg級 3位	



優勝旗



盾・トロフィー



第18回九州中学生選抜軟式野球大会優勝
(令和2年度)



第64回九州吹奏楽コンクール 金賞

東中と西中の統合により
川内中央中学校が誕生しました。

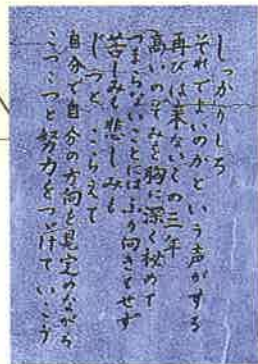


川内東中学校

川内東中学校校歌

作詞 新屋敷 幸繁
作曲 涉 秀豊

- 一、桜の花の咲く時に
朝日におう物語
山を開きて庭となし
岩をたためて門となす
川内東中学の
ほまれをさざむそらの色
- 二、吉野の山のほところに
行く末までの愛の袖
洗う心の樋脇川
川内川にそそぐとき
希望にもゆるしるしとして
朝日桜のわが徽章
- 三、見よや上床山の上
紫尾山上に光あり
世界平和を願いつつ
学びの窓に身を寄せて
思う心を誰が知る
南の里の清き夢
- 四、理想は高き三百の
友よ心は定まりぬ
正しき道をふみわけて
いざいざゆかんもろともに
川内東中学の
校歌のこだまするところ



開校当時 南校舎は、現在の半分の長さだったことが伺えます。



上空から見た全景



開校当時の校門

School data -昭和57年-

川内東中学校... 64人
川内西中学校... 710人
計 774人

部活動(昭和57年)

- ・陸上部
- ・水泳部
- ・剣道部
- ・柔道部
- ・男子バレー部
- ・女子バレー部
- ・男子バスケット部
- ・女子バスケット部
- ・男子テニス部
- ・女子テニス部
- ・体操部
- ・野球部
- ・サッカー部
- ・卓球部
- ・吹奏楽部
- ・放送部

平成30年4月に高江中学校と
川内中央中学校が統合しました。

高江中学校

川内西中学校

川内西中学校校歌

作詞 脇 太一
作曲 田中 義人

- 一、新たなり 明け行く朝は
青雲の 匂える紫尾を
大いなる 希望に仰ぎ
永遠の 真理をひらく
- 二、豊かなり 流るる水は
大川の しぶきに鍛へ
わが生命 珠とみがきて
友愛の 誠は篤し
- 三、さやかなり 理想の眉は
明日の日に 祖国を担ひ
可愛杜の 楠とし香る
ああわれら 川内西中



- 一、雲峰出る川内の
清流海に入る所
天地の恵み先人の
精魂こりし広瀉や
平野豊かな我が高江
- 二、汗を勤めの糧として
科学のメスをかざしつつ
民主自立に培わん
学びの道はとこしえに
理想は高し柳山
- 三、紫尾の遠山薄霞
手綱持つ手に散る桜
稲の花咲く学び舎の
窓に希望の鐘が鳴る
集うは高江中学校

高江中学校校歌

作詞 内田 南 暁
作曲 川口 辰五郎

川内中央中学校の10年間の軌跡



笑福亭鶴瓶さん・SHELLYさん
(Aスタジオ番組収録 平成23年度)

School data -令和3年-

現在籍数…518人
(男子…256人、女子…262人)
敷地面積…64,302㎡
校舎面積…8,756㎡
現学級数…17学級

やさしさと
思いやりを胸に、
ともに成長する
川内中央中



合唱コンクール(令和元年度)

部活動(令和3年)

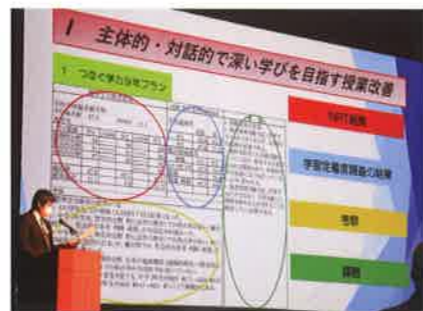
- ・陸上部
- ・水泳部
- ・剣道部
- ・柔道部
- ・野球部
- ・男子バレー部
- ・女子バレー部
- ・男子バスケット部
- ・女子バスケット部
- ・男子テニス部
- ・女子テニス部
- ・サッカー部
- ・男子卓球部
- ・女子卓球部
- ・美術部
- ・吹奏楽部



小中一貫教育

川内中央中学校では「確かな学力を身に付け心豊かでたくましい児童生徒の育成」を目指し、小中一貫教育にも力を入れています。毎年夏に実施される合同研修会では小学校との情報交換や、学力向上のために共通実践できることを協議してきました。また、体験授業や新聞作り等の交流を通じ、小学生が中学校での生活について具体的にイメージできるような取り組みを行ってきました。令和2年度はこれらの実践をもとに研究公開を行いました。

「義務教育9年間で子どもを育てる」という小学校との共通認識のもと、中1ギャップを解消し、子どもたちが安心して中学校生活を送れるようこれからも小学校と協働して小中一貫教育を推進していきます。



研究公開(小中一貫教育の取り組み)



ふるコミ 網でつなげる思い(平佐西小)



大綱練り(平成26年度)



5年ぶりとなる大雪(平成27年度)



第38回九州中学校陸上競技大会(平成28年度)



第48回全国中学校柔道大会(平成29年度)



6校PTA交流会(平成29年度)



第37回文化発表会(平成30年度)



広島県への修学旅行(平成30年度)



リモート授業で「GIGA開き」川内中央中
薩摩川内市平佐町の川内中央中学校で14日、生徒全員が1台ずつのタブレット端末を使うGIGAスクールが始まり、全校一斉の「開校式」があった。担当の原田貴史教諭がリモート授業の形式で、生徒たちに基本操作や心構えを教えた。
同校市内で3番目に多い519人が通う。一斉にスタートするため、原田教諭が視聴覚から講義。生徒



リモートの講義を聞きながら端末を操作する生徒
—薩摩川内市の川内中央中学校



第40回入学式(令和3年度)



第40回体育大会(令和3年度)

タブレット端末を使うGIGAスクール開講(令和3年度)



「創立40周年によせて」

第40代 生徒会長
山本 光軌

「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」、どんなときでも、校内では挨拶が飛び交います。僕が川内中央中に入學して最初に驚いたことは、先輩方の元気の挨拶の声でした。先生方や友達同士ではもちろん、保護者や外部から来た方々に対しても、しっかり立ち止まって丁寧な挨拶をする姿は、とてもかっこいいと思いました。でもすぐに、自分たちも真似できるようになりました。

第40代生徒会長の山本光軌と申します。先輩方が積み上げてこられた歴史の節目の年に大事な役を務めることを嬉しく思います。今年度、川内中央中は、「優しさ日本一の中央中をつくる」というスローガンを掲げ活動しています。

挨拶とは、相手を認めること。あなたがそこに居ることを認めているという合図だと聞いたことがあります。挨拶をしなければ、相手は、無視された、存在を認められなかった、と感じるかも知れません。挨拶とは、ここに居てもいいんだよ、という優しさのメッセージなのです。

現在、世界中がコロナ禍に襲われています。マスクの着用や手洗い、定期的な換気、ソーシャルディスタンス、給食の黙食、外出の制限、授業や行事の休止や短縮、部活動の大会の中止・延期・観客制限などなど、僕たちの生活に深刻な影響を及ぼしています。10年後の50周年、60年後の100周年の頃には、歴史の教科書に載っているであろう大きな事件の真只中に今、僕たちは身を置いています。「あの頃は大変だったんだぞ」と、未来の後輩たちに語る機会があるとしたら、その未来においても、中央中の「優しさ」の象徴である挨拶の伝統が後輩たちにずっと引き継がれていることを願います。そのために、今の僕たちが、この大変な時期に負けず、笑顔で元気の挨拶で頑張っていこうと思います。



第40代生徒会役員